

JAわかやまが取り組む農業体験農園の普及推進 ～生産者と市民の交流の場づくりと都市農業の振興～

○地域の概要

JAわかやまは、和歌山県北部の和歌山市にあり、近年は道路網が整備され、京阪神市場への距離が短縮されるなど、都市近郊農業を営む上で恵まれた条件にある。

管内では、市西部の砂地地帯の野菜をはじめ、紀の川流域の水田地帯の水稻および裏作野菜、東部の傾斜地帯の果樹、市内全域での花きといった、都市近郊農業特有の多彩な品目が栽培されている。



○取組の概要

JAわかやまでは、農業体験などを通じて、生産者と都市住民の交流の場を提供するとともに、農業への理解促進等を目的に、平成27年度から和歌山大学と共同で、都市農業振興策を研究してきた。

具体的には、農業体験農園に着目し、講演会等を通じて開設希望者を募り、これまで4園で開設した(20㎡/区画・30品目/年)。農園では、園主が定期的に栽培講習会を実施している。

なお、運営にあたっては、JAが栽培面や広報など全面的にバックアップしている。

○取組みの成果

農家にとっては、農業所得の安定、農作業の労力軽減、農地保全などのメリットがあり、「収穫の喜びを味わう参加者の笑顔が見られる。自ら培った生産技術を収入に変えられる。」といった意見が出ている。

一方、入園者は、農業者から直接、栽培指導を受けることができ、「初心者であっても立派な農産物を収穫できた」といった声が聞かれるなど、満足度は高い。

その結果、現在、いずれの農園でも募集区画の8割以上が利用されており、地域農業の理解促進や子供への食農教育強化にも一役かっている。

○取組の経緯

年月	内容
H27.4月	和歌山大学と農業体験農園共同研究開始
〃	組合長、全役員も参加するプロジェクトチーム発足
H27.7月	東京都練馬区をはじめ、先進地を視察
H28.1月	練馬区から農業体験農園実践者を講師に迎え、講演会を開催
H28.2月	和歌山市内のJA直売所にてアンケート調査を実施(500名に農業体験農園の利用意向を調査、25%以上が関心あり)
H28.4月	1ヶ所目の農業体験農園が開園
H30.4月	新たに3ヶ所の農業体験農園が開園

※記載内容は令和元年6月30日現在の情報です

○今後の展開

こうした取組を通じて、JAにとっては地域住民へのサービス提供、都市農地の持続的な保全や有効活用などのメリットに加え、地域貢献にも繋がっていることから、今後も取組拡大に向け支援していく。



このページに関するお問い合わせは

和歌山県農林水産部農業生産局果樹園芸課

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 TEL:073-441-2900 FAX:073-441-2909

メール:e0703001@pref.wakayama.lg.jp